

編集後記

震災後、このような記録誌を残すことなど全く念頭になく、職員全員がひたすら復旧・復興に取り組んできました。その後、2度にわたる人事異動やたびかさなる庁舎復旧工事に伴う執務室の移転等により、当時の貴重な資料・写真等が散逸しつつあるとともに、震災を体験した当時の記憶が次第に薄れていく状況となっていました。

このたび、震災2周年を迎えるにあたり、土木施設の記録誌を発刊することとなり、土木部長を委員長とし、関係課室職員を編集委員とする編集委員会を設置し、復興対策室が事務局となり編集に取り組んできました。

私たちはこの日本列島で暮らす限り、いつかは地震に遭遇します。防災の大敵は油断と風化とよく言われますが、兵庫県の体験を綴ったこの記録誌を全国の皆様に読んでいただき、いざというときに役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、本誌の編集に際して、下記のとおり多方面から多大なるご協力をいただきました。ここに、深くお礼申し上げます。

【資料提供並びに編集協力】

- ・建設省
- ・消防庁
- ・神戸市及び被災市町
- ・阪神高速道路公団
- ・(社)全日本建設技術協会
- ・大阪ガス(株)
- ・NTT
- ・運輸省
- ・気象庁
- ・日本道路公団
- ・(社)土木学会
- ・各鉄道事業者
- ・関西電力(株)

(順不同)

【参考文献(本文掲載以外)】

- ・神戸大学工学部 : 兵庫県南部地震緊急被害調査報告書(第1報) 1995.2
- ・神戸大学工学部 : 兵庫県南部地震緊急被害調査報告書(第2報) 1995.3
- ・関西電力(株) : 阪神・淡路震災復旧記録 1995.6
- ・国土開発技術センター : ダムの耐震性に関する評価検討委員会報告書 1995.11
- ・阪神高速道路公団 : 大震災に立ち向かって 1996.1
- ・消防庁 : 阪神・淡路大震災の記録 1996.1
- ・大阪ガス(株) : 阪神・淡路震災被害・復旧記録 1996.3
- ・運輸省鉄道局監修 : よみがえる鉄路 (山海堂) 1996.5

【写真提供】

- ・神戸新聞社
- ・朝日新聞社
- ・毎日新聞社
- ・(株)共同通信社
- ・大阪建設工業新聞社